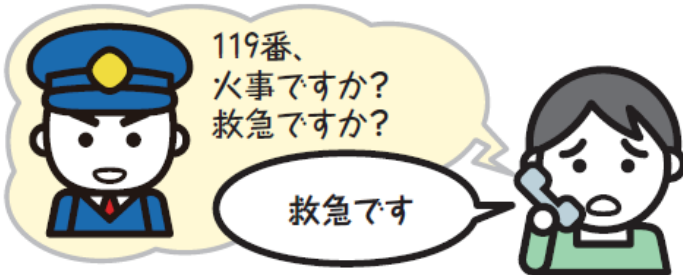


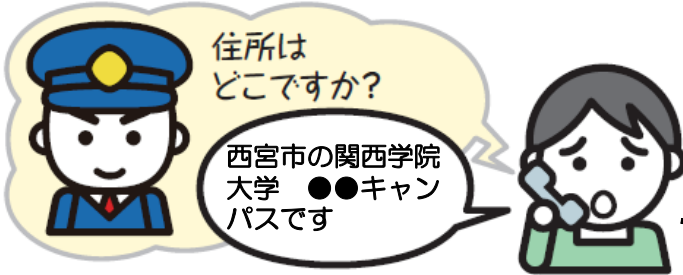
救急車の呼び方

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを、順番にお伺いします。緊急性が高い場合は、すべてお伺いする前でも救急車が出動します。
あわてず、ゆっくりと答えてください。



1 救急であることを伝える

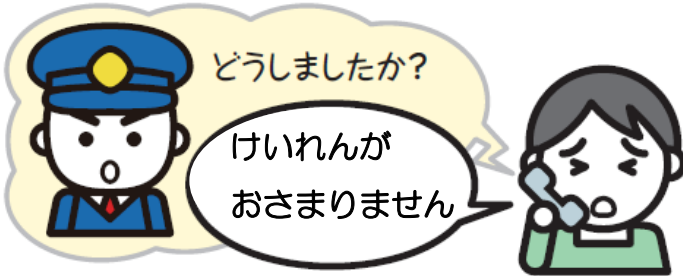
119番通報をしたら、まず「救急です」と伝えてください。



2 救急車に来てほしい住所を伝える

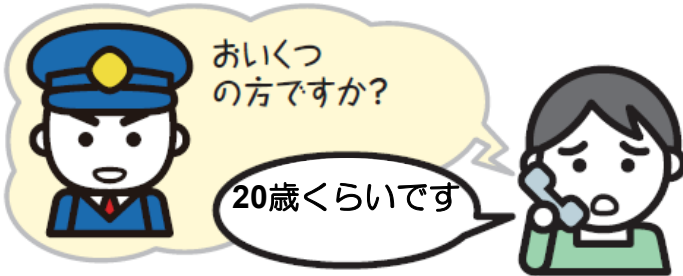
住所は、必ず、市町村名から伝えてください。住所が分からない時は、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えてください。

住所は●●市●●●●です



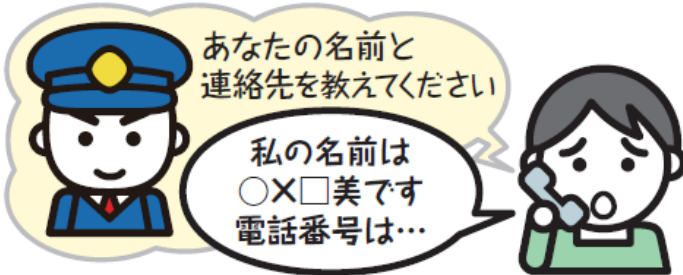
3 具合の悪い方の症状を伝える

最初に、誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無等を伝えてください。



4 具合の悪い方の年齢を伝える

具合の悪い方の年齢を伝えてください。分からない時は、「60代」のように、おおよそでかまいませんので伝えてください。



5 あなたのお名前と連絡先を伝える

あなたのお名前と119番通報後も連絡可能な電話番号を伝えてください。場所が不明な時などに、問い合わせることがあります。

※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります。答えられる範囲で伝えてください。

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です。

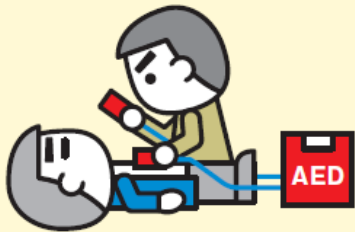
救急通報のポイント

救急車を呼ぶときの番号は「**119番**」です。

救える命を救うためには、**応急手当**が重要です。
応急手当が必要な場合は、消防本部から電話で指示されます。

救急車が到着するまではどうしても時間がかかります。
いざというときに、大切な方を救うためにも、
正しい応急手当を身につけておきましょう。

AEDを誰かに
持ってきて
もらってください



お近くの消防署では**応急手当の講習**を行っています。
消防署の電話番号は、市役所等のホームページなどで
調べることができます。



平均7.9分
(平成21年中)



応急手当をしている人以外にも
人手がある場合は、
救急車の来そうなところまで案内に出ると
到着が早くなります。



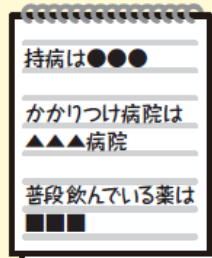
救急車を呼んだら、**こんな物を用意しておく**と便利です。

- ・ 保険証や診察券
- ・ お金
- ・ 靴
- ・ 普段飲んでいる薬
(おくすり手帳)



救急車が来たら、**こんなことを伝えて下さい**。

- ・ 事故や具合が悪くなった状況
- ・ 救急隊が到着するまでの変化
- ・ 行った応急手当の内容
- ・ 具合の悪い方の情報
(持病、かかりつけの病院やクリニック、
普段飲んでいる薬、医師の指示等)



* 持病、かかりつけの病院
やクリニックなどは、
日頃からメモにまとめて
おくると便利です。